

鷲宮高校 社会科フィールドワーク通信 Vol.8(2024. 2月)

社会科同好会準備編⑤

2月12日(日)、「社会科同好会(仮・申請中)」のうち、1学年生徒3名(本当はもう1人・・・病欠で残念です)＋社会科教員1名で、横浜中華街を見学後、私立神奈川学園中高(横浜駅)を訪問し、「DVD『核被災と核兵器禁止条約』&神奈川学園社会科部との活動交流」に参加してきました。

2024年はアメリカの水爆実験によるビキニ事件から70年にあたります。『ゴジラ』の新作がアカデミー賞を受賞したことで、新たに関心を持った方もいるのではないのでしょうか？ 核被災をテーマとしたDVDを鑑賞し、感想交流を行ったあと、神奈川学園の「マーシャルプロジェクト」(マーシャル諸島にあるコープスクールとのオンラインや手紙による交流活動)の発表や、社会科部の、関東大震災の被害状況を学校の記録から読み解いた実践報告を聞きました。有志団体「東京高校生平和ゼミナール」からも核兵器禁止条約への理解を広げる取り組みの発表がありました。本校社会科同好会も、この半年間に行ったフィールドワークについて発表し、お互いの取り組みについて意見交換を行いました。



『学校時報』から被災状況を読み取る。当時の佐藤善治郎校長は、「朝鮮人暴動」のデマにだまされず、冷静に対応できた人物！



この半年間に行ったフィールドワークについて分担して発表。



写真は載せていませんが、マーシャル諸島との交流プロジェクトも大変意義のある素晴らしい取り組みでした！



中華街は、春節らしいにぎわいでした！



以下、参加した生徒の感想を紹介します。

◆ビキニ事件やマーシャル諸島のことを知れて、また知識が増えて賢くなれた。今回学んだことは絶対に知っていなければいけないのに1ミリも知らなかったもので、知ることができて良かった。全団体、発表がすごく上手で、研究レポートだけでも多くのことを学べたし、資料などを見てすごく肌で感じる事ができた。

◆自分は半年前までこのような活動とは縁が無く何も知らなかったけれど、今回の交流も含めて、自分と同世代の人がビキニ事件や関東大震災のことについて、深く細かく考えており、尊敬しました。自分では考えられないような事件の疑問点や、発想を持っており、自分ももっと色々な活動を通して、深くハイレベルに活動していきたいと考えました。

◆神奈川学園の方たちの発表がとても分かりやすかった。「学年」という大きい団体で活動しているのに、ここまで色々な活動ができて、それを言語化して説明できるところに尊敬した。平和ゼミの皆さんも、署名活動を含む様々な運動の行動力にとっても驚いた。同じ中学生・高校生としてここまでできるのはすごいと思った。